

		版	作成日	作成者
		1.0.9_0	10/02/19	LSC
OpenDolphinPro 検体検査報告書フォーマット2			更新日	
			15/09/15	

使用媒体 :	
フォーマット:	CSVフォーマット (カンマ区切)
ファイル名 :	拡張子は .DAT2、名称は任意
レコード長 :	可変長 + CRLF(2Byte)

【インターフェースKEY】
KEY1 : オーダーID
KEY2 : カルテ番号
KEY3 : 採取日 採取時間

※桁数(バイト数)は、可変長で最大値となります。

No	アイテム名	位置	桁数	KEY	アイテム説明	省略不可	確認/取り決め事項
<属性情報>							
1	検査会社名	1	4		"ABC"等、ラボを識別するためのコード	○	半角。社名の英語表記を推奨。
2	オーダーID	2	20	KEY1		○	半角(過去の結果データおよび他患者様も含めて重複しない値)
3	カルテ番号	3	10	KEY2	患者ID	○	半角。患者IDでORCAに登録されているものと桁数を含め同一であること。
4	採取日 採取時間	4	16	KEY3	YYYY/MM/DD HH:MM 採取日 採取時間をセット。 未記入の場合は、ラボの受付日をセット。	○	半角 (採取時間を省略した場合、カルテ表示は「00:00:00」となります。)
5	カナ患者名	5	20		全角カナ	○	全角
6	性別	6	1		M:"男"、F:"女"	○	半角
7	乳比	7	3		"1"、"2"、"3"		半角
8	溶血	8	3		"1"、"2"、"3"		半角
9	透析前後	9	1		1:"前"、2:"後"		半角
10	報告状況コード	10	1		"M":中間報告、"E":最終報告	○	半角
<結果情報>							
11	グループコード	11	15		検査項目コードの請求分野をセット。 分画子の場合は、親の請求分野をセット。	○	Lab固有の体系で可。半角
12	グループ名称	12	40		請求分野名称をセット。	○	Lab固有の体系で可
13	検査項目コード・親	13	15		検査項目コードの分画親コードをセット。 以外は検査項目コードをセットする。	○	Lab固有の体系で可。半角(他検査項目と重複厳禁)
14	検査項目コード	14	17		検査項目コード	○	Lab固有の体系で可。半角(他検査項目と重複厳禁)
15	MEDISコード	15	17		MEDISコードをセット。		半角
16	検査項目名	16	40		検査項目名称	○	
17	異常区分	17	1		"H":異常上、"L":異常下	○	半角
18	基準値	18	14		表示用基準値をセット。性別により判断する。	○	半角
19	検査結果	19	12		検査結果	○	半角(親項目など結果値無しの場合は、何かしらの文字をセット)
20	単位	20	14		単位	○	半角とする。
21	検査材料コード	21	3		検査材料コードをセット。		Lab固有の体系で可。半角
22	検査材料名称	22	40		検査材料名称をセット。		
23	報告コメントコード1	23	3		報告コメントコードをセット。		Lab固有の体系で可。半角
24	報告コメント名称1	24	40		報告コメント名称(略称)をセット。		
25	報告コメントコード2	25	3		報告コメントコードをセット。		Lab固有の体系で可。半角
26	報告コメント名称2	26	40		報告コメント名称(略称)をセット。		

※ 本フォーマットの注意事項(特徴)

同一患者で同一日に同じ検査を2回以上行った場合等、同じ検査の別依頼が同一日に発生したときに、結果データの受付番号(オーダーID)で識別して、「ラボテスト(結果表示)」画面で別の列に結果値を表示します。

オーダーIDを主KEYとし、検査会社名の識別はしません。複数の検査会社のデータを取り込む場合、結果データの並びが他検査会社と混在する可能性があります。

		版	作成日	作成者
OpenDolphinPro 検体検査報告書フォーマット2		1.0.9_0	10/02/19	LSC
			更新日	
			15/09/15	

※ 検査項目表示の並び順

- 1、「グループコード」の昇順
- 2、「グループコード」内で「検査項目コード・親」の昇順
- 3、「検査項目コード・親」内で「検査項目コード」の昇順

※グループコードについて

検査履歴等、電子カルテ上でソートする為のキーとして使用。

ソートキー = グループコード + 検査項目コード・親 + 検査項目コード

※文字出力について

- ・半角と記されている項目は厳守すること。
- ・ギリシャ文字の環境(機種)依存文字は禁止する。(例:「γ」は使用できますが、環境(機種)依存文字「ϣ」は使用できません。)
- ・ローマ数字(I II III IV V VI VII VIII IX X)は禁止する。(例: II → 2等へ)

※結果返却仕様確認

- ◎ 1IDで報告が複数回となる場合、既に結果が上がっているものも含め、毎回報告する。(電子カルテ上では、毎回クリア後、取り込みとするため)
- ◎ セットコードは返却しない。
- ◎ 検査結果値の無い、検査項目の返却方法。
 - 検査中の場合 → 返却しない。
 - 検査完了の場合
 - ・ セットコード → 返却しない。
 - ・ 分画親コード → 検査結果値”NULL”、報告コメント”ZZ”、報告コメント名称”結果値無し”で返却する。
 - ・ セット、分画親以外 → 返却しない。
 - ・ キャンセルの場合 → 返却しない。

※全体的なポイント

- (1) 英数字は原則として半角
- (2) カタカナは原則として全角
- (3) 全角ローマ数字は厳禁(クライアント端末でカルテ参照時に文字化けします)
- (4) 検査コード、基準値、コメントは検査会社固有の値でOK
- (5) 結果値無しと未報告の区別をコメント等で付ける
- (6) ギリシャ文字の環境(機種)依存文字は厳禁
- (7) KEYとなる項目
 - 1 検査会社名
 - 2 オーダーID
 - 3 カルテ番号(医療機関様で運用している桁数で出力 ゼロサプレスは厳禁)
 - 4 採取日 採取時間
 - 11 グループコード
 - 15 MEDISコード(必須ではありませんが、セットされていることが望ましい)
- (8) 未報告結果は同一オーダーIDの報告済み結果と合せて、出力してください。